2013年8月　神於山シャープの森ＧＳ活動報告

2013.8.8
SGC 本社事務局

１．活動日時：2013年８月３日（土）　９：００～１２：００
２．参 加 者：11 名　（現役ＧＳ ４名、社友ＧＳ ７名）
３．活動内容
・今回は、上部の林道側の植栽の下枝伐りと以前にマークした除伐対象木の伐採 及び クリの木広場と上部植栽地入口から始まる林道沿いの路肩の草刈りに取り組みました。
・植栽の下枝は以前刈り込んでいますから作業は除伐対象木の伐採中心になり、太陽の光が届く明るい林内になりました。
・クリの木広場と林道沿いの路肩は個人持ち込みの２台を含め刈払機５台が唸りを立てて活躍。ここもスッキリしました。前回初めて刈払機を扱った中村さんが今回も大活躍です。
・休憩は下の基地に降りるのは疲れるので、現場にブルーシートを敷いてとりましたが、いつも通りワイワイがやがや楽しい話が飛び交いました。　活動頂いた 11 名のＧＳの皆さん、お疲れ様でした。
４．次回の活動
・休憩時、フクロウの巣箱を沢山架けようという話になり、次回は自然林に入り“候補の木”探しを行うと共に、巣箱作りの工夫など、フクロウの棲む森づくりを更に進めることになりました。
・別途要領をご案内しますので、皆さん奮ってご参加ください。

１．植栽の下枝伐りと除伐対象木の伐採。写真から想像して勝手にコメントを付けてみました。本当はどうなんでしょう。

・今回の下枝刈は目線以下の枝が対象！

・次はどれや!?

・それにしても育ったなァ。

・いやー！伐っちゃったよ！

・これは細いなあ。日陰やったからかな？

・伐るのは良いけど枝払いは・・・

下枝伐りと除伐の成果

枝葉と幹に切り分け、枝葉はカブトムシのケージに積み、幹は杭などに使います。

・皆で刈った山積みの成果。

・細い木や混んだ枝が払われて、林内に光が届くようになりました。

2. クリの木広場と林道沿いの路肩の雑草刈り。

今回も持込み２台を含め計５台の刈払機が大活躍です。

≪右の写真≫
・クリの木広場の担当は、香遠さんと中村さん。
・中村さんは今回２度目の刈払機を使っての作業です。
・香遠さんには、中村さんのコーチもして頂きました。

・慎重に刈り込み中の中村さん。

・スッキリしたクリの木広場

・腰痛など構ってられん！と山本さん。

・ダイナミックに刈り込む小林さん。

≪左と下の写真≫
・路肩と上部植栽地入口は、山本さん、小林さん、真砂（記）の３名が分担して草を刈りました。
・これで一ヶ月は大丈夫です。

・再びスッキリした路肩。次回は8月末頃です。

・上部植栽地入口も綺麗になりました。

休憩時の一コマ ＆ 集合写真。

今回活動頂いた 11 名のＧＳの皆さん。和気あいあいです。

・会社の話から香遠さんの内視鏡手術の話まで、ワイワイがやがや。いつも通り賑やかです
・それにしても香遠さんは退院して10日ほどですからタフです。

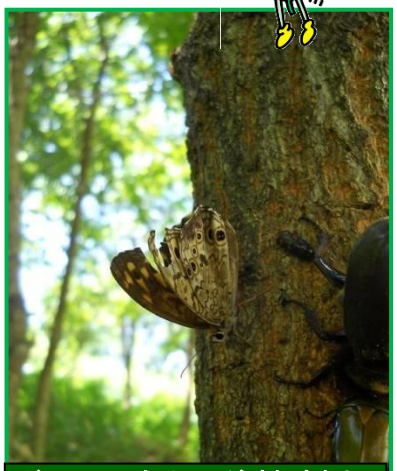
・成果をバックにお疲れ様！の11名です。

３．吸密に集まった虫たち。　カブトムシのメス二匹、カナブン、ジャノメチョウ

・カブトムシの吸蜜が終わるのを待っているカナブンとジャノメチョウと言った構図です。

・基地近くの林道沿いのクヌギに、カブトムシのメス、カナブン、ジャノメチョウが吸密に集まっていました。

・潜在自然植生/鎮守の森で有名な、横浜国立大学　宮脇教授の「森ではいろんな生き物が、いがみ合いながらも限られた空間でその種の能力に応じて精一杯命をかけて生きている。」という言葉を思い出す風景で、いよいよ自然の森らしくなってきたと嬉しくなりました。



・ジャノメチョウは、羽が破れ疲れ切った様子で待機。

・初めはカブトムシが押しあいをしていましたが・・・

・下の一頭が押し負けて退散・・・。

・それを見てカナブンがすかさず参戦・・・！

・カナブンが吸蜜に成功！
・ジャノメはまだ蚊帳の外です。

以上